

放送部の2学期、挑戦は続く・・・

さて、2学期、放送部にとってはモーレツに忙しい時期です。でもまあ、落ち着いて着実にやれば何とかなる・・・そういう時期です。ただ、大切なことは、漫然と業務を進めるのではなく、より業務を効率良く進めるために“自分ならこうする”という視点を持つことです。そして、“できる”改善を進めることです。全体の流れのなかで自分の役割を考え実行することです。慎むべきことは“独りよがりの言動”です。独りよがりではできることもできなくなります。

例えば、行事なら行事に参加する人に、いかに気持ちよく参加してもらえるかということを考え行動することです。それが行事を成功させる秘訣です。“独りよがり”“自己満足”では行事は台無しです。放送部への信頼もガタ落ちになります。そうすると、「(大会に参加しないので)絶対に負けない明石高校」から「(必死に取り組んで)県大会の常連、時には全国大会へ参加」までしてきた先輩たちの努力をムダにし、これから明石高校を目指し後輩になる中学生・小学生の活躍の場を奪うことになりかねません。

放送部活動は、これらのことを考え実践する場でもあります。最近、新しい学力観としてよくいわれる「思考」「判断」「表現」・・・これらのことを日常的に、当り前にやっているのが放送部です。そのなかでいかに付加価値をつけるか、ただそれだけです。

まず、体育大会。設営時の器材トラブル(ケーブルの断線?機器の相性?)に見舞われ、どうなることかと思いましたが、何とか役割を果たすことができました。スピーカーの位置の関係で聞こえにくい場所があるということでご迷惑をお掛けし申し訳ありません。場所によっては、スピーカーを増設することで対応できると思いますが、スピーカー近くの方は“うるさすぎで耐えられない!”となると思われます。さて、どうすべきか?次回へ向けての課題です。



今年の進行表表紙です。



9/19 体育大会 放送部、頑張っています。



9/16 県立播磨南高校で合同練習会



9/21“日本文化再発見シンポジウム”へ参加(県公館)

誰でも、諦めなければどこかに活躍の場がある。それが放送部です。受検生の皆さん、明石高校放送部で“夢”の実現にチャレンジしましょう。